



名古屋市会議員 中川たかもと 新型コロナウイルス感染症対策 緊急レポート

<ご挨拶> 4月24日 **新型コロナ対策 本部長 に就任**致しました

みなさま、お元気ですか？さて今一番の心配事は新型コロナウイルスの感染ではないでしょうか？日本はもとより各国の感染者数、死亡者数を毎日見聞きするたびに、ご心配のことと思います。こうした状況下において、自民党市議団では新たに新型コロナウイルス対策本部を設置致しました。

そして、私とその責任者として**新型コロナ対策本部長**に就任させて頂くことになりました。市民の皆様の求められる施策や市民の皆様にとって必要な施策をスピード感を持って提案し、実現に向け努力して参る決意です。

名古屋市会議員 中川たかもと

—PCR検査体制を拡充します—

～ 4月27日 名古屋市との公開協議の場において実現いたしました ～

- ・ 「**名古屋市PCR検査センター**」を5月半ば～下旬までに設置
- ・ **検体採取への補助**について
- ・ **PCR機器の設置補助（名古屋市独自）**について **を要望、実現しました。（詳細は裏面にて）**



4月24日記者会見の様子



私です！ 4月27日公開協議の様子

①「名古屋市PCR検査センター」を5月半ばにも設置します！

「PCR検査を受けたくても受けられない。」

「微熱が続いて保健センターへ電話をしても、あなたは感染していないと言われた。でも最終的な結果は陽性でした。」

「院内感染を防ぐためにもPCR検査を受けるべきだ。」

などのご要望やお問い合わせを多数頂いて参りました。

新型コロナウイルスの感染を防ぐためにも、また、市民の皆さまの安心を確保するためにも

PCR検査センターの設置が必要不可欠です。

そして、スピード感を持ってその実現を図ることも必要不可欠です。

同時に医療崩壊を招かないようにしていかななくてはなりません。

名古屋市医師会の皆さまと協議をし、PCR検査が必要と判断した患者さまから検体を採取する場として、

まずは1カ所、5月半ば～下旬までに名古屋市内に「名古屋市PCR検査センター」を設置して参ります。

②検体採取へ補助を行います！

「PCR検査センター」を立ち上げるなど、市内の検査体制を充実強化するためにも、検体採取を行っている検査機関への補助制度は欠かせないと考えます。

医師や看護師をはじめとした病院関係者への危険手当の支給や、高額かつ入手が困難な防護服、ゴーグルなどの個人防護具の購入も必要な中で、検体採取にかかる補助制度を市独自に直ちに構築し、必要な支援を行って参ります。

③PCR機器の設置補助（名古屋市独自）を行います！

PCR機器の設置は、国の制度により2分の1の補助があります。先の臨時会においては市内17医療機関からそれぞれ購入希望があると想定で計1億5300万円の補正予算を議決致しました。

しかし高額な機器の購入であり、病院等の負担をできる限り軽減するため、残りの2分の1の部分について、名古屋市独自の補助を検討して参ります。

4月8日 16時

新型コロナウイルス感染症対策について

市長へ要望して参りました。



私です！

「名古屋市独自の経済対策や子供支援策などを検討すること」

「医療体制の更なる充実を図ること」

「軽症者等の療養宿泊施設等の確保に取り組むこと」

などを要望して参りました。

4月9日 9時15分

新型コロナウイルス感染症対策について

知事へ要望して参りました。



「医療崩壊を招かないあらゆる措置を進めること」

「緊急事態宣言の対象区域に指定された場合、その後の県民、企業等へのきめ細やかな支援策を講じていくこと」

「小中学校など休校期間が延長された場合、オンライン授業の導入など教育環境の充実を図ること」

などを要望して参りました。